

## 遠隔授業と対面授業の機能的な活用

教育学研究科・白松 賢

### 1. 今年度の授業内容

本授業では、教職への一体感を目指して、教育法規、教育原理、教育史、教師の生活世界についての概論やディスカッションを通して、基礎的知識・理解を深める。また自己の適性について自己評価する。

### 2. 今年度の遠隔授業と対面授業

本年度は、クラス分けを行い、遠隔授業（知識理解）と対面授業（思考・判断・表現）を実施する予定であった。しかしながら、春先の新型コロナの感染拡大により、実質的に6月下旬まで遠隔授業のみでの対応となった。その結果、対面の実施は各クラス2コマのみとなってしまう、思考・判断・表現に焦点を定めた授業実践が不十分な状況となった。

### 3. DP 対応調査の結果分析

DP 対応調査の結果は例年とほぼ同様であったが、思考・判断・表現に関する領域

には、やはり大きな課題が残った。知識・理解に関しても、9割弱が肯定的な回答、興味・関心・意欲・態度については、97%の学生が肯定的な回答をしており、授業のねらいは達成している。授業では教師としての適性について検討する内容が含まれており、非教員志望の学生については、このDP観点では否定的な回答が想定されるが、3%程度の学生が、興味・関心・意欲・態度について否定的な回答であった。この結果には、授業を通して教育学部での教員養成を中核にした学びに対する関心や意欲を高めることに寄与していることがわかった。

### 4. 課題

DPの質問項目がダブルバーレルであり、どこに反応された回答がわからないところもあり、次年度は、細やかに細分化した授業質問紙調査を実施して、詳しく学生の意識分析を行いたい。

教職基礎論DP対応調査結果（2022）

	とても そう 思	あ る 程 度 そ う 思	あ ま り そ う 思 わ な い	D P と そ の わ	授 業 の 目 標 ・ 内 容 が こ の	計
知識・理解：教育と教職に関する確かな知識と、得意とする分野の専門的知識を修得している。	55.6%	36.8%	10.5%	0.0%	100.0(133)	
技能：教育活動に取り組むための十分な技能を身につけている。	36.8%	47.4%	18.0%	0.8%	100.0(133)	
思考・判断・表現：教育現場で生じているさまざまな現代的諸課題について、専門的な知見をもとに、その対応方策を理論に基づいて総合的に考え、その過程や結果を適切に表現することができる。	43.6%	47.4%	12.0%	0.0%	100.0(133)	
興味・関心・意欲、態度：教師としての使命感や責任感を持ち、自己の課題を明確にして理論と実践とを結びつけた主体的な学習ができ、自主的に社会に貢献しようとする。	67.7%	32.3%	3.0%	0.0%	100.0(133)	